

1

**みんなで共に
進める仕組みをつくろう**

～ 小規模多機能自治のまちづくり ～

「今度、夏祭りで、中学代表として発表することになったの」

娘の結菜（ゆいな）が、少し誇らしげに笑った。

中学一年の探究学習で考えたまちづくり企画が、校内で最優秀賞に選ばれたのだ。

その成果を、湖南省の夏祭りのブースで披露することになったと言う。

沙織（さおり）は、夫と結菜と三人で、この春に湖南省へ越してきたばかり。不安もあったけれど、何かと声をかけてくれる近所の人々のやさしさが、沙織の心をすぐにほぐしてくれた。

夏祭りの会場は、光と笑い声が重なり合う場所。小学生はヨーヨー釣りに夢中で、ステージでは高校生のダンスが観客をわかせる。子育て世代は率先して運営に関わり、シニア世代はこどもたちをあたたかく見守っている。

その輪の中で、結菜は友達と並び、来場者に笑顔で語りかけていた。

「私たちは、地域が元気になる地産地消のレシピを開発する企画を考えました」

未来への扉を押し開くまっすぐな伸びる声で。

世代を越えて手を取り合い、笑顔でつながる

——このまちの魅力は、まさにそこにあった。

—10年後

今年の夏祭りは、中学生と地元企業が協力してつくった「いしべえ井」が屋台に並び、湖南省のNEWソウルフードとして注目を集めている。

結菜は就職先の地元企業ブースを担当し、地元中学生を導いている。

沙織は夏祭りの運営を担う40～50代の仲間と共に会場を整えながら、親子そろって夏祭りに関わる不思議な縁を思い返していた。

灯りにゆれる祭りの夜。

中学生の呼び込みの声で、また新しい未来へと響いていく。



※この物語は、第三次湖南省総合計画ワークショップの“みんなでつくる将来のまちの姿”をモチーフに描いた物語です。実在の人物や団体などとは関係ありません。

1. 湖南省版小規模多機能自治の推進

施策1 小規模多機能自治の推進



これまでの取組

地域まちづくりフォーラムの開催などを通じた地域との意見交換や地域まちづくり協議会への担当職員による支援、交付金の適正化などコミュニティプラン（地域まちづくり協議会ごとに定めた特色ある地域づくりのビジョン）の実現に向けた支援を行ってきました。

めざす姿

市内4箇所の中学校区を生活圏域としてサポートする体制、連携の形を確立していきます。地域主体の特色ある地域づくりへの支援が行われ、地域まちづくり協議会が中心となって地域が自らできることに主体的に取り組んでいます。

実施方針

- 小規模多機能自治センターの設置（4中学校区の拠点の確立）
- 市民と行政の協働の推進
- 地域まちづくり協議会の活動促進

施策2 地域コミュニティの活性化



これまでの取組

地域代表者会議や研修会を通じて区・自治会運営の先進事例を学んできました。また、地域まちづくりフォーラムでは、若い世代との対話に取り組んできました。

めざす姿

こどもから高齢者まですべての世代が地域づくりに関わり、世代間交流を通じて将来の地域づくりの担い手が育まれる環境が整っています。

実施方針

- 地域コミュニティプランによる主体的な地域づくりに向けた協働、助言
- 地域の担い手となる若い人財の育成支援
- 地域課題への関心を高めるための情報提供や学習機会・伝統行事などへの支援

施策3 中間支援組織の検討



これまでの取組

地域まちづくり協議会では、持続可能なまちづくりをめざし、まちづくり団体などとの協働により、地域特産品の開発やちよこっとカフェなどのコミュニティでの取組を進めてきました。

めざす姿

NPO、ボランティア組織、企業のほか福祉、商工業などの団体が連携し、地域に根差したコミュニティ事業を展開することで持続的なまちづくりが展開されています。

実施方針

- あらゆる主体との協働による地域まちづくりの推進
- 人財育成や専門家との協働によるコミュニティの充実

施策4 幅広い層の市民参画の促進



これまでの取組

グループワークを取り入れた対話型のタウンミーティングの開催や市長への手紙などにより、対話を通じて市政への理解を深めてきました。
また、各種行政計画の策定過程にパブリックコメントを実施することで、市政への参画機会を設けてきました。

めざす姿

若者を含め幅広い世代が、タウンミーティングや各種委員会・審議会に参画し、市政に意向が反映されています。

実施方針

- 幅広い世代からの市政に対する意見・提案機会の拡充
- 各委員会・審議会の公募委員の確保

施策5 行政からの情報公開の拡充



これまでの取組

情報公開室を設置し、各種行政資料の公開を行いました。
また、湖南省ホームページや湖南省メール、湖南省公式ソーシャルメディアによる情報発信に取り組んできました。

めざす姿

庁内各課から市民にとって有益で魅力的な行政情報が多様な媒体によって発信され、だれもが気軽に必要な情報にアクセスできるようになっています。

実施方針

- 行政情報の自主的・積極的かつ迅速な公開
- パブリシティ（メディアへの発信および報道によるPR）に対する全庁的な意識向上
- 行政情報の拡充

2. 地域防災の推進

施策1 地域の自主防災組織の充実



これまでの取組

地域の自主防災組織の設立、防災訓練などの活動を推進するため、支援の制度を整えてきました。

めざす姿

日頃からの住民の防災に関する取組が活発になり、身近な地域の防災力が向上し、災害発生時においても、だれ一人取り残されない安心が確保されています。

実施方針

- ふるさと防災チームをはじめとした地域の自主防災組織の充実
- 防災訓練・研修などの充実による防災意識の高揚
- 向こう三軒両隣のコミュニケーション強化

施策2 防災体制の確立



これまでの取組

区・自治会単位での自主防災組織の設立を促進し、身近な地域の防災力向上を支援してきました。また、消防団や湖南省市防災士連絡会など専門性の高い組織との連携強化に取り組んできました。

めざす姿

消防団、防災士、消防署など防災に関わる関係主体の連携体制が中学校単位で確立され、地域の防災体制がより強固なものとなっています。

実施方針

- 関係主体のネットワークの構築
- 消防団や湖南省市防災士連絡会による専門組織の体系化

施策3 避難所の機能の充実



これまでの取組

防災出前講座、避難所開設・運営訓練などの実施により、防災意識の向上を図り、地域の避難所運営体制の強化に努めてきました。また、避難所の開設・運営の課題点などについて関係者間で情報共有するため、意見交換会を開催してきました。

めざす姿

女性や要支援者などの視点が取り入れられた地域の避難所運営体制が確立され、だれもが安心して避難できます。避難所にも安心して避難できるように避難体制や物資の提供体制などの準備が整っています。

実施方針

- 地域の避難所運営体制の整備

3. 地域福祉の推進

第1章
小規模多機能自治体のまちづくり

施策1 地域福祉体制の充実



これまでの取組

少子高齢化や一人暮らし世帯の増加が進む中、地域の困り事を自分事と捉え、地域でまるごと支える仕組みづくりを推進してきました。

めざす姿

地域の困り事に関する情報プラットフォームが確立されており、関係主体間が連携し、困り事の解決へスムーズにつながっています。

実施方針

- 多様な相談内容から支援につながる重層的体制の整備
- 関係主体間の情報の共有

第2章
自然を生かし、自然と共生するまちづくり

施策2 住民主体の地域福祉活動の促進



これまでの取組

地域まちづくり協議会ごとに地域支えあい推進員が設置され、地域課題の取りまとめや解決方法の検討などがなされてきました。また、ボランティアセンターが実施するボランティア育成事業の広報を行ってきました。

めざす姿

地域住民と地域支えあい推進員が連携して安心できる居場所づくりなどの地域福祉活動が活発になっています。

実施方針

- ボランティア人財やボランティア活動の周知とマッチング
- 地域の居場所や相談できる場づくり

第3章
人と産業が集い、公共交通でつながるまちづくり

第4章
子どもが主役の、生涯健康で安心に暮らせるまちづくり

第5章
市民文化を築き、育み、伝えるまちづくり

第6章
効率的・効果的な行政システムと人づくり

4. 外国人市民の地域定着、生活支援の充実

施策1 コミュニケーションの支援



これまでの取組

通訳職員や窓口職員が、外国語およびやさしい日本語を活用して外国人市民のニーズに対応してきました。庁舎や保健センター、まちづくりセンターにタブレット、自動翻訳機を設置し、多言語化への対応を進めてきました。

めざす姿

適切な通訳や窓口職員によるやさしい日本語、デジタル機器の活用などによりコミュニケーションが円滑に行われています。

実施方針

- 適切な通訳とやさしい日本語の全庁的な周知・活用の推進
- AIコミュニケーション機器（AI（人工知能）が搭載された通訳機など）の拡充
- 多言語での湖南省の各種情報などの発信

施策2 安心できる生活の支援



これまでの取組

湖南省一元的外国人相談窓口を設置して、さまざまな相談に対応してきました。また、外国人技能実習生への生活オリエンテーションを行い、日本での生活や防災について通訳者を通して説明を行ってきました。広報こなんやごみカレンダーなどを翻訳し、情報提供を行ってきました。

めざす姿

湖南省一元的外国人相談窓口が周知され、外国人市民のさまざまな不安の解消、問題の解決につながっています。こどもから高齢者まですべての世代が地域づくりに関わり、世代間交流を通じて将来の地域づくりの担い手が育まれる環境が整っています。

実施方針

- 地域コミュニティに溶け込みやすい環境づくり
- 文化の違いによる地域問題の解決支援の促進

施策3

異文化コミュニケーションの充実



これまでの取組

関係機関と連携し、異なる文化についての学習や交流の機会づくりの促進と啓発を行ってきました。

また、関係機関や地域の活動と連携し、外国人市民が参画し、交流できるイベントを支援・周知してきました。

めざす姿

日本人も外国人市民も同じ地域社会で共に生き、共に支えあうという意識がさらに醸成され、多文化共生社会が実現しています。

実施方針

- 相互理解を深める異文化コミュニケーションの促進
- 多文化共生に向けた学びあいの機会の創出
- セントジョンズ市をはじめ海外との親交を通じた人財育成の推進
- 関係団体との協働による多様な交流事業の推進

5. 地域まちづくりの担い手の確保

施策1 多様な主体のつながりの形成



これまでの取組

地域まちづくりフォーラムでの地域まちづくり協議会の活動、こなんSDGsカレッジや市内の中学生・高校生による事例発表など、地域との意見交換を行ってきました。

めざす姿

NPOや地域まちづくり協議会などのまちづくり活動団体同士が連携しながら交流・体験を実施し、若い世代を中心とした人財が育まれています。

実施方針

- 市民・団体間のネットワークの構築
- 市民活動の活性化や継承に対する支援
- 若い世代を中心とした人財育成の機会創出

施策2 ふるさとへの愛着づくり



これまでの取組

ふるさと納税やこなんSDGsカレッジ修了生によるプロジェクトなど、地方創生に関する制度を活用しさまざまなシティプロモーションを実施してきました。

めざす姿

若者やものづくり人財（製品の生産や技術開発に携わる人々）が活躍し、さまざまなまちづくり活動が創出されています。

実施方針

- ふるさと応援人口（地域に移住・定住していないものの、ふるさと納税や各種イベントへの参加やボランティア活動などを通してその地域を応援する人）の拡大
- ふるさと納税などを活用したシティプロモーション
- 地域や教育機関との協働による主権者教育の推進
- 産業界や教育機関との連携による先導的な取組の促進

6. 多様な市民が参画する仕組みづくり

第1章
小規模多機能自治の
まちづくり

施策1 移住・定住の促進



これまでの取組

移住定住サイトを活用した情報発信や移住相談会における湖南省の魅力のPR、結婚新生活を支援してきました。

めざす姿

湖南省への移住を検討している人のそれぞれの段階に応じた支援が整備され、移住者の増加につながっています。

実施方針

- まちの魅力の情報発信・相談支援の強化
- 移住の受け皿となる体制整備・支援の充実
- 地域とつながる体験・交流の支援
- 結婚に関する支援・若者に向けた情報発信

第2章
自然を生きし、
自然と共生するまちづくり

第3章
人と産業が集い、
公共交通でつながるまちづくり

施策2 関係人口の創出



これまでの取組

空き家活用やふるさと納税を活用したシティプロモーション、SDGsカレッジなどの取組により、関係人口（他の地域に住みながら、地域と継続的かつ多様に関わる人々）の増加を図ってきました。

めざす姿

第2のふるさとづくりとして、関係部署や民間事業所などの連携により、地域の人財を活用した新たな交流の場が創出されています。

実施方針

- 第2のふるさとづくりの受け皿となる環境整備
- 地域人財などを活用した新たな交流の場の創出

第4章
こどもが主役の、生涯健康で
安心に暮らせるまちづくり

第5章
市民文化を築き、育み、
伝えるまちづくり

第6章
効率的・効果的な
行政システムと人づくり

7. 人権尊重と恒久平和の追求

施策1

人権尊重の徹底とあらゆる差別の撤廃



これまでの取組

人権尊重の理念の浸透と差別の撤廃に向け、関係機関と連携しながら、人権教育・啓発事業を展開し、家庭・地域・学校・園・企業における人権意識の高揚を推進してきました。

めざす姿

部落差別をはじめ、障がいのある人、子ども、女性、高齢者、外国人などへの人権侵害やあらゆる差別に対する基本的な知識や理解・認識が深まり、人権尊重が徹底されています。

実施方針

- 関係機関との連携による人権意識の高揚に向けたあらゆる差別に対する啓発活動の推進
- あらゆる差別に対する相談体制の強化
- 正しい理解・認識と実践につなげる人権学習の機会・内容の充実
- 湖南省学校・園人権教育基底プランによる内容の実践
- 地域総合センターによる支援活動の充実
- 企業内人権のきめ細かな啓発、研修の推進
- 企業の自発的な取組への支援

施策2

相談体制の充実



これまでの取組

部落差別や外国人差別、障がいのある人への差別、虐待、いじめ、DV、ハラスメント、ストーカーなど、人権に関わる相談が多様化しています。相談に的確かつ迅速に対応し被害者保護や早期解決を図るため、関係機関・団体などと密接な連携による取組を行ってきました。

めざす姿

だれもが利用しやすい相談窓口が設置され、多様化する人権相談に対応し、市民の立場に立った相談が行われています。

実施方針

- 関係機関・団体などの多様な相談窓口との連携による総合的な相談体制の強化
- 相談員の育成
- 相談窓口の周知



施策3

「非核平和都市宣言」の啓発

これまでの取組

2005年度(平成17年度)に、あらゆる国の核兵器の廃絶を訴え、人間の尊厳を守り、基本的人権の尊重と恒久平和を求めため「非核平和都市宣言」を宣言しました。

また、2009年度(平成21年度)に平和首長会議に加盟し、平和に関する啓発活動に取り組んできました。

めざす姿

戦争体験者の体験の語り継ぎが次の世代へと継承され、戦争の惨禍を風化させることなく、後世に世界平和実現の願いが引き継がれています。

実施方針

- 平和啓発の推進

8. ジェンダー平等の達成

施策1

ジェンダー平等の啓発



これまでの取組

家庭や地域・学校・企業などあらゆる社会活動の場で男女共同参画社会についての理解が進むよう、啓発用DVDの貸出や講座を開催し、啓発に努めてきました。

めざす姿

家庭・地域・学校・企業などあらゆる場でジェンダー平等の意識が浸透し、男女が同等に家事・育児・介護を担い、仕事と両立できています。

実施方針

- 家庭・地域・学校・企業などあらゆる社会活動の場でのジェンダー平等の啓発活動の推進
- だれもが働きやすい職場環境に向けた企業への啓発活動の推進

施策2

だれもが参画できる環境整備と社会参加の促進



これまでの取組

女性が社会に参加しやすい環境整備と共に、審議会や区・自治会における女性の参画を推進し、活躍事例の情報共有や啓発を行ってきました。

また、湖南市主催講座の開催の際に、予約制の託児サービスを実施してきました。

めざす姿

性別・性差に関係なくだれもが社会に参加しやすい環境整備が進み、政策決定や地域活動での意思決定に意向が反映されています。

実施方針

- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 地域・社会参加を促進するための環境整備
- 政策決定や地域活動での意思決定の場への女性登用の促進
- 女性職員の管理職への登用の推進

施策3

相談および支援体制の充実



これまでの取組

人権相談ネットワーク協議会などの関係機関との連携により、相談内容の多様化に対応してきました。

また、女性の悩み相談（月2回）・人権なんでも相談（月2回）を実施すると共に、就労相談の開催や女性活躍の事例集などの啓発により、女性の社会参加を促進してきました。

めざす姿

ジェンダーを取り巻く社会的問題や心身の健康に関する問題を受け止め、解決や自立へ導く相談体制が充実しています。

実施方針

- 関係機関との連携による相談体制の強化
- 相談員の育成
- 相談窓口の周知

施策4

性的マイノリティへの理解促進



これまでの取組

関係団体と連携し、啓発パンフレットの作成・配布、広報こなんやホームページで啓発を行い、多様な性に関する理解を深めてきました。

めざす姿

性別・性的指向・性自認・性表現に関わらず、自分らしく生きることが尊重される社会が実現しています。

実施方針

- 啓発活動の推進